

第54回 統計委員会 議事概要

1 日 時 平成24年3月13日（火）15：03～16：02

2 場 所 総務省第2庁舎7階 大会議室

3 出席者

【委員】

樋口委員長、深尾委員長代理、縣委員、安部委員、川本委員、北村委員、西郷委員、白波瀬委員、椿委員、中村委員、廣松委員

【統計委員会運営規則第3条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長等》

内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、厚生労働省大臣官房統計情報部長、農林水産省大臣官房統計部統計企画管理官、経済産業省大臣官房調査統計審議官、国土交通省総合政策局情報政策課長、日本銀行調査統計局審議役、東京都総務局統計部長

【事務局等】

乾内閣府大臣官房統計委員会担当室長、杉山内閣府大臣官房統計委員会担当室参事官、伊藤総務省政策統括官（統計基準担当）、千野総務省政策統括官付統計企画管理官

4 議 事

(1) 諮問第43号「社会保障費用統計（旧社会保障給付費）の基幹統計としての指定について（諮問）」

(2) その他

5 議事概要

(1) 諮問第43号「社会保障費用統計（旧社会保障給付費）の基幹統計としての指定について（諮問）」

金子総務省調査官から資料に基づき、諮問内容の説明並びに勝又国立社会保障・人口問題研究所情報調査分析部長から補足説明が行われた後、審議が行われた。本日の審議を踏まえ、次回の委員会において答申案について審議されることとされた。各委員の主な意見等は以下のとおり。

○ 基幹統計の名称として想定している「社会保障費用統計」のうち「社会保障」という用語については、SNAにおける「社会保障」と概念が違うことを踏まえると、適切なものか疑義があるので、検討してはどうか。

→ 国によりソーシャル・セキュリティのイメージは異なっているが、我が国においては、「社会保障給付費」という名称で長年にわたり統計を公表しており、「社会保障」については、医療、福祉、年金などを含むイメージが国民の間に定着している。一般的にも理解されやすい用語であり、新たな名称として「社会支出」など新たな言葉は理解が得にくいと考えている。

○ 基幹統計として指定する範囲はどこまでか。ユーザーの利便性を考慮し、これまで提供されてきた統計表も継続して公表されるよう検討すべき。

→ 基幹統計として指定する範囲は、「OECD基準表」及び「ILO基準表」の2種類の統計表を考えている。ただし、ユーザー側の視点に立ち、基幹統計として想定している2種類以外

の統計表についても、今後も継続して公表していきたい。

○ OECDの作成マニュアルを見ると、例えば、**Housing Assistance** が本当に日本の住宅扶助に当たるのかなど、疑問を持つところがあるが、マニュアルとの整合性は取れているのか。

→ 集計に当たっては、各制度の取扱いについてOECDに確認し調整をしており、国際基準との整合性は取れている。

(2) その他

① 総務省から、参考6に基づき、東日本大震災に伴う基幹統計調査の変更申請の承認に関する状況並びに参考7に基づき、各府省等（統計関係）における東日本大震災の対応状況についての報告があった。

② 樋口委員長から委員長預かりとしていた「諮問第39号の答申 労働力調査の変更及び労働力調査の指定の変更（名称の変更）について」及び「諮問第40号の答申 就業構造基本調査の変更及び就業構造基本調査の指定の変更（名称の変更）について」は、参考1及び参考2のとおり答申した旨の報告があった。

③ 次回の委員会は、4月20日（金）の15時から中央合同庁舎第4号館で開催する予定。